

1938 年日本の領有を宣言、新南群島と名付けて実効支配し、1945 年の終戦時まで日本領としていた。

従って中国が古来より我が領土だと主張して実効支配に着手しているが、全く根拠がないごり押しで海軍力を誇示して占領したが、その理由は簡単明瞭でこの海域に石油資源が眠っているからで、この行動を阻止する力は沿岸国にはない。



- ・ 西沙群島、パラセル諸島：南シナ海に浮かぶ多数の珊瑚礁の島礁、ウッディー島、ツリー島、トリトン島の三島は居住可

インドシナ半島を支配していたフランスは 1926 年これらの島々を調査し、軍隊を常駐させ実効支配した。

第二次大戦でフランスはドイツに降伏したため、これらの島々の実効支配を放棄し、日本軍が実効支配を引き継ぎ、終戦時まで支配していたが、第二次世界大戦が終結すると再び旧宗主国であったフランスが戻ってきて支配した。

ところが第二次世界大戦中に軍事訓練で鍛えられ、また日本軍が残した武器・弾薬をもって蜂起し、フランス軍と対峙したのが第一次インドシナ戦争で 1954 年フランスは破れベトナムを去った。

北緯 17° 線をもって北ベトナムと南ベトナムに分断され、それぞれが独立国になったが、第一次インドシナ戦争を引き継ぐようにアメリカ軍が介入し、

第二次ベトナム戦争は徐々にアメリカ軍が引き継ぐようにして、南ベトナム軍とそれを支援するアメリカ軍対南ベトナム開放民族戦線・北ベトナム軍、支援する中国人民共和国、ソ連邦、即ち 1960 年 12 月に武力衝突があった。

アメリカを盟主とする資本主義陣営対ソ連邦を盟主とする共産主義陣営の冷戦を背景とした代理戦争であった。

この戦争には韓国軍も参戦し、韓国陸軍首都師団（猛虎部隊）1 万数千人が派兵、続いて陸軍第九師団（白馬部隊）が参戦した。

1975 年 4 月 30 日南ベトナム国の主都サイゴンが陥落、降伏し、やっと終わった。

- ・ 1968 年 4 月、小笠原諸島、大東諸島その他の島礁が返還された
- ・ 1972 年 5 月 15 日、沖縄列島、施政権がアメリカ政府より返還された

サンフランシスコ平和条約調印

1951 年（昭和 26 年）7 月 20 日、米英共同で日本を含む全 50 ヶ国へ招請状を発送したが、印度は参加したが途中で不参加を決めた。ソ連、ポーランド、チェコスロバキアの三国は中国人民共和国が招請されなかったことを不満とし調印を拒否

中国に関しては、中華民国、中華人民共和国のいずれを招請すべきかで揉め、結果はどちらにするか決まらず、後刻日本が決めることにした。